

栃木県教員育成指標(栄養教諭)

とちぎの求める教師像

～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～

人間性豊かで信頼される教師
幅広い視野と確かな指導力をもった教師
教育的愛情と使命感をもった教師

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
全体指標	栄養教諭としての基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志をもっている。	教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、同僚からの助言等を得ながら職務を遂行している。	専門的な知識・技能や、新たな教育課題に対応する実践的指導力を身に付けるとともに、同僚と協働しながら職務を遂行している。	学校運営に積極的に参画し、組織の活性化を図りながら学校の健康課題等の解決を目指して、企画力・実践力を発揮している。	教職生活を通して培った経験のもとリーダーシップを発揮し、学校の教育目標の達成を目指して積極的に学校経営を支え続けている。

○「食に関する指導」に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
食に関する指導全般	児童生徒への食に関する指導の基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志をもっている。	生きた教材としての「学校給食」を活用した食に関する指導の方法を身に付け、献立等の工夫により教科等と関連付けた指導を行っている。	計画的な食に関する指導を行うため、常に効果的な指導方法を研究し、質の高い指導に向けて工夫・改善に努め、児童生徒の実態に基づいた、実践的な指導を行っている。	食に関する新しい情報を収集し、同僚への助言等を行うとともに、食育に関する協働的・組織的な体制づくりに貢献し、学校の課題解決のための企画力・実践力を発揮している。	学校の課題を解決するため、組織を活用した体制の確立にリーダーシップを発揮しながら児童生徒の健康課題の解決等に向けて力を発揮している。
教科等における食に関する指導	食に関する指導の基礎・基本を理解するとともに、教科担任等と連携する大切さを理解している。	児童生徒の食生活等の実態を把握するとともに、専門性を生かして、教科や特別活動等における指導計画を作成し、指導を行っている。	専門的知識を深めるとともに、担任等と協働しながら、教科指導等の工夫・改善を図っている。	児童生徒の変容を指導に生かせるよう担任等と連携するとともに、食育推進の中心的役割を果たしている。	食育推進のリーダーとして、健康課題を解決するとともに、近隣の学校等と連携し、創意工夫しながら、指導を行っている。
個別的な相談指導	適切な相談指導	栄養学等の基本的知識及び個別的な相談指導の大切さを理解している。	実態調査等から、食物アレルギー等の食に関する健康課題を有する児童生徒や保護者に対し、専門的な立場から適切な相談指導を行っている。	専門的知識を深めるとともに、担任等と協働しながら、相談指導等の工夫・改善を図っている。	個に応じた指導計画を基に、専門的な立場から、担任等へ助言等を行っている。
	校内体制の整備と関係機関等との連携		校内における相談指導体制を整備するとともに、主治医や学校医・関係機関等と連携を図り、適切に対応している。		校内体制について工夫・改善を図るとともに、主治医や専門医等と密接に連携を取りながら対応している。
指導の連携・調整		食に関する指導を行う上で、家庭や地域等と連携することの大切さを理解している。	児童生徒の食生活等の実態を把握し、食に関する指導の全体計画策定に専門的な立場で参画するとともに、食に関する指導について、教職員・保護者・地域との連携を図っている。		教職員・保護者・地域と連携を図り、工夫・改善を行いながら中核的な役割を果たしている。また、地域の栄養教諭のリーダー的立場として後輩への支援・助言を行っている。

○学校給食の管理に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
学校給食の管理全般	児童生徒に応じた栄養管理及び給食管理の基礎・基本を理解している。	専門性を生かし、学校給食摂取基準や食品構成に配慮した献立の作成、児童生徒の実態把握を実施し、より適切な給食管理を行っている。	栄養管理の資料の活用や衛生管理責任者として教職員への情報提供や支援・助言を行い、児童生徒の健康状態等の実情に十分に配慮し適切な指導を行っている。	確実な給食管理により学校の課題解決のための企画力を身に付け、同僚への支援・助言を行い、組織的に児童生徒の栄養管理や衛生管理の指導体制づくりに貢献している。	学校の教育目標に基づいた学校給食の基本計画を立案し、給食管理に関する課題を解決するため、組織を活用した管理体制の中でリーダーシップを発揮しながら取り組んでいる。
学校給食の基本計画の策定		学校給食の基本計画の策定の大切さを理解している。	児童生徒の実態を把握しながら、効果的な基本計画を策定している。	学校の課題解決を目指した、組織的な基本計画の策定に努めている。	
栄養管理に関する業務	栄養管理と魅力ある献立の作成	栄養管理に関する業務の基礎・基本を理解している。	児童生徒の食生活状況を把握し、学校給食摂取基準や食品構成、地場産物の活用に配慮した献立の作成を行っている。	適切な栄養管理や地場産物の活用に配慮し、教科等と連携した魅力ある献立の作成を行っている。	特色ある献立を作成するとともに、地域の栄養教諭のリーダー的立場として後輩への支援・助言を行っている。
	資料等の効果的な活用		食事状況調査・残食調査等の結果を基に、栄養管理の内容を指導に生かせるよう、情報提供を行っている。	教職員と協働して効果的な資料の活用を図るとともに、児童生徒への指導・助言を行っている。	栄養管理の課題に即した資料を効果的に活用するとともに、担任等に専門的な立場から支援・助言を行っている。
衛生管理に関する業務	衛生管理指導、衛生管理保持、検査、検査用保存食の管理	衛生管理に関する業務の基礎・基本を理解している。	衛生管理責任者として、調理従事者への衛生管理指導、施設設備の改善及び食品の衛生管理を適正に行っている。また、検査の実施及び検査用保存食の管理を適切に行っている。		
	安全管理・危機管理		管理職等と連携を図りながら、事故の未然防止に努めるとともに、問題発生時に適切に対処している。	事故の未然防止や問題発生時の対応に向けた校内の協力体制について、工夫・改善を図っている。	
物資管理に関する業務		物資管理に関する業務の基礎・基本を理解している。	地場産物・国産食材等の活用との関連を考慮し、学校給食物資の選定、購入、検収及び保管について適正に行っている。		

○参画・経営に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
参画・経営全般		組織の一員として役割を果たそうとする強い意志をもっている。	「報告・連絡・相談」を確実に行うとともに、同僚からの助言等を得ながら、校務分掌の遂行に当たっている。	社会の変化に目を向け、広い視野をもつとともに、同僚と協働しながら校務に組織的に取り組んでいる。	学校経営目標や学校経営方針を理解し、食に関する課題を把握するとともに、解決に向けた提案をしている。	組織を活用した食に関する課題の解決のためにリーダーシップを発揮している。
校務分掌への取組		校務の一端を担い、組織の一員として働くことの大切さを理解している。	担当する校務分掌について、責任を自覚し、迅速・正確な処理をしている。	担当する校務分掌について、同僚と協働しながら、工夫・改善しながら取り組んでいる。	校務分掌への取組を通して学校の課題を把握し、他の校務分掌との連携を図りながら、改善に努めている。	
ICTや情報・教育データの活用		ICTや情報・教育データの活用の意義、校務等における活用方法を理解している。	ICTや教育データに関する基本的な知識を身に付け、同僚からの助言等を得ながら、業務改善を意識して、校務にICTを活用している。	ICTを効果的に活用し、業務改善を踏まえて、同僚と協働しながら、校務の効率化に取り組んでいる。	業務改善の視点から、他の校務分掌との連携を図りながら、ICTを活用して、改善に努めている。	
学校経営への参画	基本計画の評価と改善	組織の一員として、組織的に対応することの大切さを理解している。	基本計画について評価を行い、同僚からの助言等を得ながら、成果と課題を把握し、改善に努めている。		基本計画について評価を行い、成果と課題を把握し、食育推進組織により、組織的な改善を行っている。	
	学校目標達成のための役割の遂行		学校の教育目標達成のために自らの役割を遂行している。	学校の教育目標達成のために全体との関わりの中で自らの役割を果たすとともに、教職員と適切に情報を共有している。	学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメントについて理解し、学校の教育目標の達成、学校経営上の課題の解決のために積極的に参画している。	学校の教育目標の達成や学校経営上の課題の解決に向けて、学校組織マネジメント等の手法を活用し、同僚を巻き込みながら、積極的に参画している。
日常の教育活動における安全確保		全ての教育活動の基盤となる安全確保の重要性について理解している。	同僚からの助言等を得ながら、教育環境、教育活動の安全確認に努めている。	学校の安全計画を理解し、同僚と協働しながら確実な実施に努めている。	安全担当者等と協働しながら、事故の未然防止に努めるとともに、安全上の課題の把握に努め、その解消に速やかに取り組んでいる。	日頃より事故の未然防止に努めるとともに、事故発生を想定した具体的な対応について、同僚と十分に共通理解を図り、支援・助言を行っている。
家庭・地域・関係機関等との連携		家庭・地域・関係機関等と情報を共有することの大切さを理解している。	食に関する指導、学校給食の管理において、同僚からの助言等を得ながら、家庭・地域・関係機関等との連携・協働に努めている。		家庭及び地域に対して啓発を行い、学校における食育の取組や成果を可視化している。また、地域の要望を勘案しながら、家庭、地域に対して食に関する指導について各種事業を企画立案し実践している。	

○意欲・態度に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ～ステージⅣ
教育的愛情・熱意	教育的愛情	教育的愛情と使命感をもった教師になるという強い意志をもっている。	児童生徒に教育的愛情をもって接している。
	信念、熱意		正しい信念のもと、熱意と使命感をもって仕事に取り組んでいる。
	人権尊重の精神		人権尊重の観点を重視し教育活動を行っている。
誠実・品位、公正、法令の遵守等	誠実・品位		礼儀正しい態度で誠実に仕事に取り組んでいる。
	公正		偏りが無い見方・考え方で公正に勤務している。
	法令の遵守		職務・勤務の在り方を自覚し、厳正に勤務している。
責任感・寛容性・協調性等	責任感		責任をもって職務を遂行している。
	寛容性		異なる意見・立場を尊重し、職務にあたっている。
	協調性		同僚と協調して職務にあたっている。
研修に対する意欲			自己の能力向上のために、研究と修養に取り組んでいる。